

SHIRATAKA
PUBLIC
RELATIONS



し ら た か

広報

11.11
NOV 2005
NO.932

白鷹町文化交流センター整備事業
について②
白鷹パークゴルフ場がオープンしました⑥
ブランド化セミナー開催のご案内⑧
ファミリーサポートセンター
登録会員を募集します⑩
白鷹町環境シンポジウム⑪



大きなおいもを「うんとこしょ」ーぼかぼか農園いも掘り体験
10月8日、山口地区の畑で行われたサツマイモの収穫です。山口区、こぐわ・あゆかい保育園、陽光学園、こぶしの家、だい
こんの会が10年前から共同でつくっているぼかぼか農園で、6月に植えた苗はすくすくと成長し、この日の収穫となりました。
園児や利用者の皆さんは自らの手で土をかき分け、えんじ色の大きないもを掘り当て、歓声を上げていました。

白鷹町文化交流センター整備事業について

—人と自然が共生し、文化と交流による心豊かな美しい郷を—

本年7月から8月にかけて（仮称）男女共生交流センターについて、地区座談会、団体説明、町報による周知、パブリックコメント手続きなどを行ってまいりました。その内容については、「広報しらたか」によりお知らせさせていただきましたが、ご指摘いただきました内容を検討し、さらに、公益施設運営検討委員会や公益施設検討委員会の検討経過を踏まえ、重複している部分もありますが、変更点を中心に再度、広報によって説明させていただくものです。

町全体が持続的に発展するために

これからは、人と自然が共生し、文化と交流の促進により心豊かな美しい郷を築き上げ、自立しながら持続的に発展するまちづくりを目指して行く必要があります。このための町全体の事業として、鮎貝まちづくり事業を当面の最大事業として位置付け、区画整理組合と町が一体となって進めている事業があります。この事業を成功させるために、文化と交流を振興するための施設の充実を図り、人づくりや町内外のネットワークを高めるための将来の布石として、文化交流センターの整備が急がれているものです。

次に、文化交流センターの概要について説明します。

白鷹町文化交流センターの概要

（仮称）男女共生交流センターについて、地区座談会や団体説明などを行った結果を踏まえ、再度検討した内容を町民の皆さまにお知らせし、パブリックコメント手続きを11月24日（木）まで行いますのでご意見をお寄せください。（手続きは広報しらたか7月12日号参照）

6月以降の経過

- ・各地区まちづくり座談会の開催（6地区）
- ・区長会（全体会、役員会、荒砥・鮎貝正副区長会）
- ・鮎貝まちづくり推進関係団体の会議開催（5回）
- ・各種団体への説明会
- ・公益施設検討委員会（2回）
- ・公益施設運営検討委員会（部会3～4回、全体会2回）
- ・振興審議会（3回）
- ・社会教育委員会・公民館運営審議会の開催（2回）
- ・図書館協議会の開催（2回）

白鷹町文化交流センターの名称変更に至った経緯

これまで、（仮称）男女共生交流センターの名称で検討をしてきましたが、検討委員会等において、名称と施設機能がわかりにくいなどのご意見があり、文化振興、交流の促進、人づくりというまちづくりを推進する観点から、施設名称をわかりやすいものに変更しました。

名 称

これまでの検討経過や座談会等のご意見も踏まえ、文化振興や交流によるまちづくりを行うための「白鷹町文化交流センター」とします。

なお、愛称は別途公募する予定です。

目 的 自立しながら持続的に発展するために目指すもの

- ①文化交流、体験活動を通じて、地域づくりと一体となったまちづくり活動センターの位置付けを行います。
 - ・交流人口の拡大と新たな価値を創造する活動を支援し、町内外の人と人が交流する拠点施設とします。
 - ・芸術文化、交流による心の豊かさを追求する拠点施設とします。
 - ・本物に触れながら、体験交流する拠点施設とします。
- ②このことによって、まち活性化並びに高い価値観を持つ人づくりを推進します。
 - ・将来の町の姿として、文化と交流による活性化と人材育成を行います。
 - ・町民生活における芸術文化の向上を図り、心の豊かさを高めます。また、子ども達の芸術文化に対する感性を高めます。

コンセプト

持続的なまちづくり、自立的なまちづくりを行うための「まちづくりセンター」的な機能を有するものとし、基本コンセプトを「文化と交流による新たな価値の創造」とします。

基本方針

自立しながら発展するまちづくりを推進するため、協働のまちづくりによる文化と交流による人づくりを進め、同時に、次代を担う子ども達の感性を磨いて行きます。もちろん、産業、教育、福祉の向上並びに防災など重要な行政課題も一体的に進めていきます。心豊かな町民生活を確保するため、芸術文化の振興や人とひとの交流拡大は、将来のまちづくりにとっても重要なことです。これらの活動を通じて、将来に向けた町民のまちづくり機能を高め、持続的に発展するまちづくりを目指します。

施設の基本構成

文化の振興や交流の促進並びに人づくりという目標を実現するため、次のような施設構成とします。

屋 内

文化ホールゾーン	固定席で音響に配慮した空間	450～500程度	ステージ	倉庫	控室
ギャラリーゾーン	展示室	収蔵庫	予備室		
会議・事務ゾーン	会議室	事務室			
付帯施設	玄関	ロビー	トイレ	倉庫等	

屋 外

広場ゾーン	芝生	イベント広場、水路	樹木	ベンチ	水飲場等
駐車ゾーン	150台程度				

設置場所

鮎貝土地区画整理地内に設置します

文化交流センターの概算事業費

項目	金額(千円)	備考
総事業費	1,200,000	
用地取得費	267,000	23,346 m ²
本体工事費	800,000	
実施設計費	56,000	
屋外工事費等	77,000	

事業期間

財政計画や振興実施計画との調整を図り、平成17年度から平成20年度の4年間を予定しています。

資金計画

国からまちづくり交付金事業として40%を交付される事業を活用します。

総事業費からまちづくり交付金を引いた額に約95%過疎債を活用し、過疎債のうち70%が地方交付税として交付されます。

項目	金額(千円)	備考
総事業費(A)	1,200,000	
まちづくり交付金	480,000	40%
過疎債	685,000	95%
一般財源	35,000	

管理運営計画

管理運営計画は、NPOなどの民間の組織による主体的な活動を中心とした管理運営を予定しています。具体的内容については町民のメンバーによる運営検討委員会を設置し、文化交流部会、男女共生・子育て部会、体験交流部会、運営組織部会の4部会で検討中です。

○維持管理計画

施設管理については指定管理者制度に基づく管理を考えています。

施設の保守点検などの費用は、年間2,500万円程度と試算しています。

○運営計画

NPOなどを主体とした管理者は、町民の参画による年間計画に基づく運営を行います。事業は、自主事業、貸館事業とし、運営費は、町委託費、チケット収入、事業参加会費、補助・協賛収入、その他により運営します。

町からの運営費用については、人件費、事業運営費を含めて2,000万円程度と試算しています。

施設利用計画

本施設の活用により、施設間の連携事業や芸術を鑑賞し講演会や討論会を開催するなど、複合的な利用効果が考えられるため、今までとは違った事業の展開が可能となります。

ホール：自主事業、共催事業、貸館事業、他ホールとの連携事業、学校事業、芸術文化活動、練習、リハーサル

ギャラリー：梅津五郎作品展、町民作品展、特別展、巡回展、個展

会議室、ロビー：各種会議、ミーティング、講演会、講習会

中央公民館との関係

現在の中央公民館に設置している図書館は、全体的に狭く学習スペースが少ないなど、改善の要望が出されており、図書館を現在の中央公民館の大ホールに移し、環境の改善を行いたいと考えています。現在、ホールを使用している町民への配慮は、パワーセンター、地区公民館、体育館の活用を考えておりますが、現在のホール利用によりサークルが育ってきた効果のご意見もあるため、町民の意見を良く反映し十分検討させていただきます。

町財政に対する影響

①施設整備に対する借入金返済

全体事業費12億円のうち、40%がまちづくり交付金として国より交付されます。残りは過疎債を活用し、うち70%は地方交付税となり全体で18%、2億4,000万円を15年間で返済します。ピークは平成24年度から6年間、単年度2,500万円程度となります。この額は、平成24年度の公債費11.18億円の2.2%となります。現在、借入金を縮減する財政計画を立てており、財政の将来見通しに支障はありません。

②維持管理運営の財政見通し

維持管理運営費の合計が4,500万円と試算しています。この額は、一般行政経費20億円の2.2%と想定しています。現在、文化振興経費は極めて少ない予算となっています。この費用については、公債費の削減、行政改革による行政コストの削減による総合的な財政運営の中で対応し、新たな負担を求めるものではありません。必要となる運営費用は、町民参加を主体とし費用の削減に努めるとともに、文化・交流、人づくりという点から直接的、間接的に町民に還元していける性格を持つ費用と考えています。

期待される効果

- ①今までの施設で、できなかった事業の展開が可能となってきます。
- ②生涯において芸術文化に対する新たな価値を創造することが可能となります。
- ③町の文化や資源の活用により、人と人のネットワークが拡大し交流が深まります。
- ④事業展開を通じて、感性を高め心の豊かさが共有できます。
- ⑤総合的な活性化や人材育成により情報の発信、町民力の向上が図られます。

今後の情報の提供

今後とも、事業が進んでいく過程で、情報を公開していきます。

問い合わせ

政策改革課 政策企画係

TEL0238-85-6123(直通) fax0238-85-2128

町ホームページ <http://www.town.shirataka.yamagata.jp>

E-mail: seisaku@so.town.shirataka.yamagata.jp

白鷹パークゴルフ場がオープンしました

10月12日、ふるさと森林公園内に「白鷹パークゴルフ場」がオープンしました。これは、町民の皆さんの健康増進と町外からの誘客を図るために、白鷹町パークゴルフ協会と白鷹町アルカディア財団、町が今年度整備してきたものです。1コース9ホールで、3コースつくられ、「こぶしコース」「さくらコース」は平成18年度に公認コースとなる予定です。

- 利用について

利用料（1人1日）	あやめ限定
大人一般	500円 200円
中学生以下	250円 150円
- 用具貸出（クラブ・ボール）

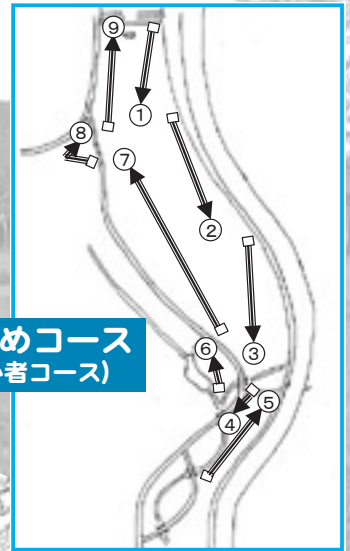
大人一般	300円
中学生以下	250円
- 利用時間

午前9時～午後5時（季節により変更あり）
- 休場日

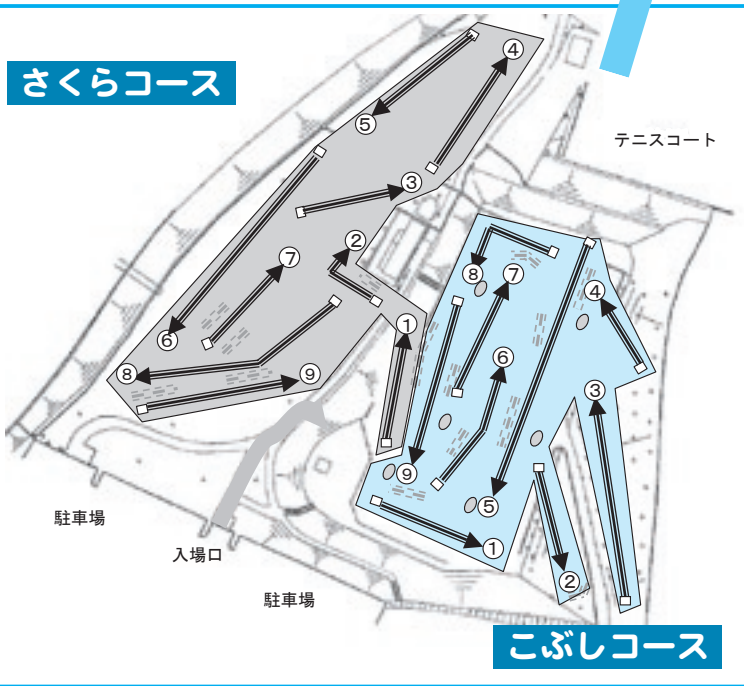
毎月第2、第4火曜日（祝日等で変更あり）
- 受付

パレス松風フロント（☎85-1001）

あやめコース （初心者コース）



さくらコース



こぶしコース

こぶしコース		
NO.	距離(m)	パー
1	42	3
2	35	3
3	60	4
4	28	3
5	87	5
6	48	4
7	36	3
8	34	4
9	54	4
合計	424	33

あやめコース		
NO.	距離(m)	パー
1	39	4
2	43	4
3	41	4
4	28	3
5	56	4
6	21	3
7	64	4
8	18	3
9	43	4
合計	353	33

さくらコース		
NO.	距離(m)	パー
1	38	3
2	31	3
3	35	3
4	40	4
5	41	4
6	73	5
7	39	3
8	64	4
9	46	4
合計	407	33



**パークゴルフ場オープン
式典開催**

10月8日、白鷹パークゴルフ場オープン式典が開催されました。これはパークゴルフ場の完成を記念し、新たな町民の皆さんの交流の場をお披露目する式典で、パークゴルフ協会や町体育協会、町関係者約90人が参加しました。式では、テープカットのあと、橋本町長の始球式が行われました。

青々とした芝の上で、皆さんも白鷹山に向かって「ナイスショット」をしてみてくださいいかがでしょうか。

町民のみなさん いつもご支援ありがとうございます

わたしたちは、地域のなかで

みなさんと一緒に仕事をしたいと願っています。

～ 陽光学園利用者の就労の現場から～

現在、白鷹陽光学園では、「人が人間として普通に暮らせる」生活をめざし取り組んでいます。

そのひとつとして、地域のなかで働く場を求めています。

職場での人間関係とふれあいのなかで、働くことの意義、厳しさ、楽しさを経験し、少しでも経済的自立ができ、働くことで生活に「はりあい」が持てるような暮らしをしたいと望んでいます。

そのなかで、現在3つの企業の皆さまにご理解をいただき就労させていただいております。

雇用者としての立場から、就労者の仕事ぶりをお話いただきました。

●最初は間違いの連続だったが、「いつかは覚えてもらえる」と気長に待っていたら、いつの間にか覚え、今では他の人にも教えられるようになった。

また、ワークトレーニング（職業訓練）で勉強してきたあとは、仕事に対し変化があり、自発的に仕事をするようになり、とてもよくなった。

成長が見える。

〔加藤製作所さん〕

●仕事内容がコンテナ清掃で、どれも嫌がるたいへんな仕事であるが、苦にしないで仕事をしてくれ助かっている。

また、一生懸命働いてくれるので、ありがたいと感じている。

〔川崎精工さん〕

●陽光学園のなかで、10年間も外に出るの仕事をしてこなかったことは、本人にとってたいへん「もったいない」時

間を過ごしてきたと思う。

最初は、いろんなことを覚えてもらうのに苦労したが、日がたつにつれ要領を覚え、手が不自由なのにとてもがんばっているし、障害があると

いつでもそれを感じさせない。ここでの仕事をステップとして、いろんな仕事に挑戦し、また経験して、自分に合った仕事を見つけていくのもいいのではないかと思う。

〔エーコープしらたかさん〕

これからもわたしたちは、障害を持つについても、障害のない人と同じように、「地域のなかでの普通の暮らし」ができるようがんばっていききたいと思えます。

町民の皆さまには、今後とも活動をご理解のうえ、ご支援とご協力をお願い申しあげます。

●問い合わせ 白鷹陽光学園

（☎ 85-3030）

85-3030



白鷹陽光学園創立10周年を祝う会

10月1日、陽光学園の創立10周年を祝う会が同学園体育館で開催されました。会では、新野晃敏理事長から同学園を支援されているかたや団体に感謝状が贈られ、10周年を記念して利用者80人全員の手でつくられたちぎり絵が披露されました。また、利用者同士の将来への飛躍を願い、記念植樹とタイムカプセルの埋設が行われました。

11日以降も降りそそぐ暖かい日の光のように、陽光学園は歩み続けます。



ブランド化セミナー開催のご案内

- いつ 12月2日(金)
午後1時30分～4時(開場 午後1時)
- どこで パワーセンター白鷹 1階ホール
- 参加料 無料(お気軽にご参加ください。)

●セミナーテーマ

ブランドとは何か、 地域ブランドとは何か。

●講演テーマ

「お客さんからの信頼をつくる」



たにむらともやす
谷村智康氏プロフィール

1963年盛岡市生まれ、博報堂、日産自動車やNTTドコモのブランド構築やプロモーションの豊富な経験を持つ。その後、外資系コンサルティング会社でテレビキー局や大手広告代理店のコンサルティングに参加。外資系通信企業のマネージャーとして電通やヒル&ノールトンを使ってキャンペーンを構築した経験を持つ。現在は、仙台市産業振興事業団のプロジェクトマネージャーとして、マーケティングの指導にあたる。著書/CM化するニッポン(WAVE出版)

●講演テーマ

「地域ブランドとまちづくり」



しがしゅういち
志賀秀一氏プロフィール

1951年北海道留辺瀛(るべしべ)町生まれ。1975年中央大学経済学部卒業後、北海道東北開発公庫(現・日本政策投資銀行)入庫。その後、観光施設山寺風雅の国を経て、2001年2月から地域づくり・観光まちづくりなどに関するシンクタンク(株)東北地域環境研究室(仙台市)代表。国土交通省東北地方交通審議会観光戦略部会委員、山形県観光政策審議会委員、日本観光研究学会理事、全国街道交流会議理事、とうほく街道会議代表幹事、上山市まちづくり塾塾長などの公職を務める。

- 主催 白鷹町
 - 後援 山形おきたま農業協同組合 白鷹町商工会
白鷹町観光協会
- 問い合わせ 産業振興課産業企画係(☎85-6126)

白鷹ブランドの確立を
目指して
(地域経済活性化)

近年、消費者の食品に対する安全・安心に、これまで以上に関心が高まっています。また、地域の持つ資源・特性を活かしたブランドづくりが地域経済活性化の切り札として全国的に注目を集めています。わが町では平成14年に農村アムニティ、平成16年には食アムニティの農林水産大臣賞のダブル受賞という高い評価を受けました。こうしたなかで、町では産業振興策の一つとしてブランド化についての検討を始めています。このセミナーは、「ブランドとは何か、地域ブランドとは何か」を町民・事業者・行政が共に考える場となるよう企画したものです。

農業所得を申告されるかたへのお知らせ

●平成17年分賃耕料・小作料等支払明細書の提出について

賃耕料や小作料の支払いがあり、控除の対象とされるかたは、支払明細書を作成のうえ、平成18年1月6日（金）まで町民税務課に提出くださいますようご協力をお願いします。

前年に提出されたかたには明細書をお送りしますが、新たに明細書が必要なかたは町民税務課に備えてあります。また、蚕桑、鮎貝、十王、鷹山、東根地区については各地区公民館にも備えてありますので、ご利用ください。

▼対象となる賃耕料・小作料

- ①賃耕料…農作業の委託料です。(耕うん・代かき・育苗・田植え・稲刈りなど)
 - ・個人間での農作業の委託料のみ提出してください。
 - ・機械利用組合、ライスセンター、カントリー組合、育苗組合、農事組合法人などの利用者は、申告相談の際に利用料の明細をお示しください。
- ②小作料…農地の賃借料です。

●土地改良・水利組合のかたへ

土地改良・水利組合に加入のかたで、申告の際賦課金を控除の対象とされるかたは、組合から事前に収支計算書、賦課金内訳書、受委託作業明細書などの書類の提出が必要です。

昨年まで提出いただいている組合には今年もお送りしますが、新たに提出される組合は、町民税務課より用紙受領のうえ、提出してください。

なお、農機共同利用組合、共同防除組合などに加入のかたは、今回から事前に収支計算書などの書類の提出の必要はありません。

提出先・問い合わせ
町民税務課町税係
(☎85-6132)

税務署よりお知らせ

○個人事業者の「消費税簡易課税制度」について

消費税の申告が必要な個人事業者のかたのうち、前々年の課税売上高が5,000万円以下の場合は、届出により「簡易課税制度」が選択できます。

個人事業者の簡易課税制度選択の届出書は、

- ①平成17年において新たに課税事業者となったかた
- ②平成18年において課税事業者であるかたともに

12月31日（土）までに税務署に提出する必要があります。

*「簡易課税制度」＝課税売上高から簡単な方法で納付税額を計算できる特例制度

○振替納税制度のご利用について

個人事業者の消費税の納税には、安全・便利な振替納税をご利用ください。

手続は「口座振替依頼書」を税務署または金融機関に提出するだけです。

提出先・問い合わせ
長井税務署総務課管理徴収担当
(☎84-1811)

ファミリーサポートセンター 登録会員を募集します

平成18年度
開始予定

10月12日の広報しらたかでお知らせしましたファミリーサポートセンターの登録会員を募集します。

子育てを応援できるかた、子育ての手伝いを受けたいかた、会員に登録してみませんか。

・保育園・学童保育までの送迎を行うなど

▼**利用料金** 援助を受けた後、利用会員が協力会員に直接支払います。

※入会金はありません。

▼**申込方法** 登録用紙(児童係にあります)に必要な事項を書いてお申し込みください。

▼**しめきり** 11月30日(水) ※しめきり後も随時受け付けます。

▼募集会員

・利用会員

町内在住で概ね小学校低学年以下の子どもの保護者

・協力会員

町内在住のかたで子育ての応援ができるかた

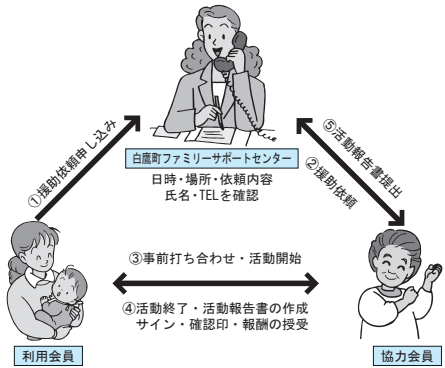
・両方会員

利用会員と協力会員の両方ができるかた

▼援助の内容

・保護者のやむを得ない事情により子どもを預かる

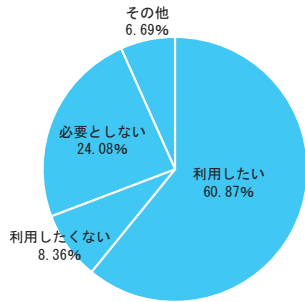
・保護者の出勤・出張など仕事の都合で子どもを預かる



■**申込・問い合わせ** 健康福祉課児童係(☎86-0212)

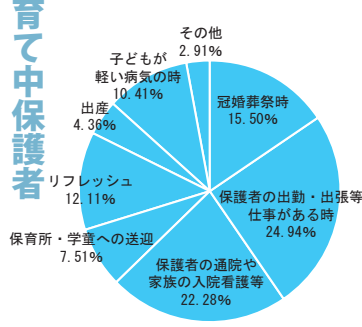
アンケート結果より

ファミリーサポートセンターを利用したいと思いませんか

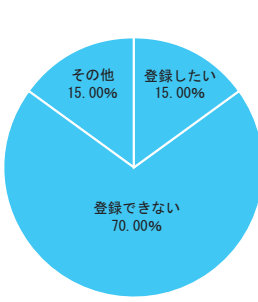


子育て中保護者

どんな時に利用したいですか

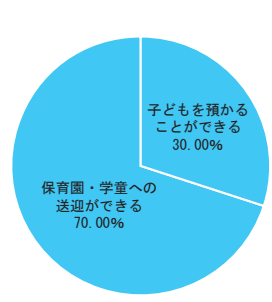


会員として登録して活動したいと思いますか



地域のかた

どんな形で子育ての協力ができますか



- 入選者**
- ◎**小学校**
- 1年：西村 一輝(荒砥小)
 - 2年：高橋 大輝(荒砥小)
 - 3年：佐藤 晴香(鮎貝小)
 - 4年：川原 未央(荒砥小)
 - 5年：児玉 聡太(蚕桑小)
- ◎**中学校**
- 6年：船山由希乃(蚕桑小)
- ◎**荒砥高等学校**
- 2年：安部智美、大木智美
- ◎**一般**
- 読書感想文：菅野志郎
 - 生活文：奥山清子

特別賞	学校名	学年	氏名	題名
生涯教育推進本部長賞	中山小	3	沼澤 義仁	小さいけれど、ふしがいつぱい
教育長賞	荒砥高	2	川部 春佳	挑戦することの素晴らしさ
教育長賞	東中	2	奥山詩穂子	「命を見つめて」
教育長賞	鷹山小	3	丸川 丞	がんばれ モモ
図書館長賞	荒砥高	1	高橋 千秋	命と今を大切に
図書館長賞	東中	1	小林 幹彦	『数の悪魔』を読んで
図書館長賞	荒砥小	5	菅原保奈美	『ヒーターのぼらの秘密』を読んで
図書館長賞	蚕桑小	4	金田 耕哉	マモからのメッセージ
図書館長賞	荒砥小	1	横山れのん	もったいない ばあさんへ

第37回読書感想文及び生活文コンクール入選者

白鷹町環境シンポジウム

白鷹町の省エネを考える

と き 11月20日（日）午後 1時30分～4時30分

ところ パワーセンター白鷹

白鷹町では現在「省エネルギービジョン」を策定しており、町民の皆さんにも「省エネワンデーチャレンジ」などに参加していただいています。今年環境シンポジウムも、この「省エネ」をテーマに開催します。

ぜひお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

●基調講演 「たのしく、得して省エネ！！」

講師 東北芸術工科大学 助教授 三浦秀一さん
(白鷹町省エネルギービジョン策定委員長)



三浦秀一さん

●パネルディスカッション

【討論内容】わたしたちにできる省エネとは？

【コーディネーター】

東北芸術工科大学助教授

三浦秀一さん

【パネラー】

米沢中央高等学校教頭

佐藤五郎さん

白鷹町省エネルギービジョン策定委員

熊坂勝則さん

長井レイボープラン市民ガイド

横山美代子さん

高畠町住民生活課主査

村上奈美子さん



●白鷹町省エネルギービジョンの説明

しらかの省エネルギープロジェクト

●小中学校総合学習の発表

荒砥小学校児童・東中学校生徒による環境をテーマにした総合学習

●入場定員／200人（予定）

なお、入場は無料となっていますので、お気軽にご参加ください。

●主催／白鷹町

●共催／白鷹町衛生組合連合会、白鷹町美しい郷づくり推進会議、
白鷹町省エネルギービジョン策定委員会、白鷹町廃棄物減量等推進協議会、
白鷹町ごみゼロの日実行委員会、白鷹町婦人の会

問い合わせ

町民税務課 暮らし・環境推進係

(☎85-6131 FAX85-5275)

被災者に元氣と勇氣を！ 「高玉芝居」 栃尾市チャリティー公演



10月10日、栃尾市市民会館で、高玉芝居のチャリティー公演が行われました。中越地震で被害を受けた栃尾市の皆さんの1年間の疲れを吹き飛ばし、明日へのエネルギーにしてほしいと、町芸術文化協会が栃尾市文化協会に働きかけ実施しました。来場した450人の観客と出演者が一体となり、泣き、笑い、楽しいひとときを過ごしました。幕間に行った募金は義援金として、鈴木啓座長から栃尾市長に手渡されました。

郷土に誇りと愛情を ブナの森づくり活動事業植樹



10月31日、横田尻地内において、ブナの苗木の植樹が行われました。以前スキー授業に使われていた旧一ノ坂スキー場をブナの森として再生し、郷土の自然について考える環境学習に活用しようと、東・西田尻区、蚕桑財産区、ボランティア団体などが主催しました。参加した小学生たちは、地元の皆さんとともに苗木を一本一本丁寧に植え、支柱に自分の名前を書き、「木を大切にしたい。」と願いを込めていました。

わたしたちの意見を町政へ 初の「中学生議会」開催(東中)



10月20日、東中学校で、中学生議会が開かれました。子どもたちにまちづくりへの関心を持ってもらい、独自の感性からの意見などを直接聞いてみよう、教育委員会が企画したものです。3年生から選ばれた14人の「議員団」は一般質問として「市町村合併への町の考え」や「少子化時代における町の対策」など、鋭い切り口で意見を述べ、対して橋本町長を始めとする町当局は町議会さながらの答弁を行いました。

住民自らの防災意識の高揚を 白鷹町総合防災訓練



10月23日、蚕桑小学校で、白鷹町総合防災訓練が行われました。不意の災害に備え、住民自らの訓練により防災意識を高めていく目的で、毎年行われています。冷たい雨のなかでの訓練となりましたが、救助訓練、炊き出し訓練、火災防ぎょ訓練など、地元の皆さんと小学生、消防団、町関係者が一丸となって真剣に取り組みました。救援物資搬送訓練では、サンシャイントライアルのバイク隊の妙技も披露されました。

岡田明さん(東根)が30年 勤続体育指導委員表彰を 受賞



岡田明さんは、昭和49年4月1日白鷹町体育指導委員就任以来、30年以上の長きにわたり白鷹町体育指導委員を務められ、昭和63年から平成15年までの16年間は、白鷹町体育指導委員会会長として白鷹町体育指導委員の先頭に立って当町スポーツ振興に尽力されました。

その功績により、10月13日、14日秋田県立武道館を主会場に開催された第46回全国体育指導委員研究協議会秋田大会において、30年勤続体育指導委員表彰を受賞されました。



10月9日開催

大会結果

第1位	荒砥Aチーム	2時間27分36秒
第2位	鮎貝チーム	2時間30分25秒
第3位	鷹山チーム	2時間36分01秒
第4位	蚕桑チーム	2時間36分21秒
第5位	東根チーム	2時間39分48秒
第6位	十王チーム	2時間44分23秒
第7位	荒砥Bチーム	2時間58分43秒

町誕生51周年記念地区対抗駅伝競走大会
荒砥Aチームが5年連続25回目の優勝！



10月22日、荒砥駅で、植樹祭が行われました。これは、環境保全の社会貢献事業を推進するJR東日本仙台支社が山形鉄道、白鷹町と連携し、フラワー長井線まつりの一環として行われたものです。JRからソメイヨシノやカンツバキなど305本を寄付いただき、参加した約100人の手によって、駅前の花壇や線路沿いに植樹されました。数年後には、桜満開のホームに長井線が到着する光景が見られるようになります。

花いっぱい荒砥駅に
フラワー長井線まつり植樹祭



10月28日から30日まで中央公民館において、35回目となる白鷹町芸術祭が開催されました。町芸術文化協会所属の29団体の参加のほか、一般から募集した書道や絵画、写真なども展示されました。29日は、中山小、鮎貝小、西中、荒砥高校の合唱・吹奏楽の発表があり、息の合ったハーモニーを聞かせてくれました。最終日には、姉妹都市栃尾市の皆さんも遠路来町され、会場で日本舞踊など芸能まつりを楽しまれました。

1年間磨き上げた美と技を発表
第35回白鷹町芸術祭



10月22日、上山市において県中学校新人体育大会南北決勝大会が行われ、女子ソフトボール競技に出場した西中学校のソフトボール部が第1位となりました。これに先立って行われた南ブロック大会でみごと優勝を果たしました。決勝大会では山形第一中、羽黒中との三つどもえの対戦を行い、結果1勝1敗で並んだため、3チームが第1位という結果でした。

山形県中学校新人体育大会
西中ソフトボール部第1位



荒砥小児童が奉仕活動
10月27日、荒砥小学校の児童が校区内の奉仕活動を行いました。全校児童が1年生から6年生までの縦割り班ごとに、琴平公園や役場周辺などに分かれて、空き缶や紙くずなどを集めていただきました。落ち葉などに混じって転がっているごみもあり、見つけにくい場所もありましたが、子どもたちは隅々まで見回って、きれいにさせていただきました。ありがとうございました。

ボランティア
ありがとうございます

白鷹版 元気塾 〈働き盛り編〉

『インディアカでハッスル！ハッスル！！』

～健康な暮らしのためには、楽しみながらできる運動が最適です。～

インディアカというスポーツをご存じですか？ルールはバレーボールとほぼ同じですが、ボールの代わりにインディアカを使います。始めはちょっと難しいと思われがちですが、やってみると適度な運動量で楽しくでき、ストレス解消にもなります。

【荒砥インディアカ愛好会】のかたにお話をお聞きました。

質問 1：会員数は？

答え 1：20代～60代まで約18人で活動しています。

質問 2：大会などにも出場するのですか？

答え 2：昨年、第20回北海道・東北ブロックインディアカ大会では、混合の部でみごと準優勝に輝きました。

質問 3：このスポーツの良い所は？

答え 3：幅広い年齢層でプレーできるので、細く長く楽しめるところです。また、いろんな年代の人との交流も楽しみのひとつです。

ご協力ありがとうございました。

*軽スポーツはほかにもたくさんあります。あなたに合った運動で健康づくりをしましょう。



インディアカ

元気ニコニコ しらたか21

「元気ニコニコ推進会議」 掲示板



10月10日、紅葉の白鷹山ゆっくりウォーキングに行ってきました。ぶなやほうの木、檜などの林の中をゆっくり歩き、有酸素運動と森林浴を楽しみました。

ほかに健康づくりのための楽しいウォーキングコースをご紹介します。



元気ニコニコなるほど情報局

〈運動の効用〉

適度な運動



老化予防、健康感の向上、積極的な生活、体力に自信、生活習慣病の予防と改善、ストレスの解消

運動不足



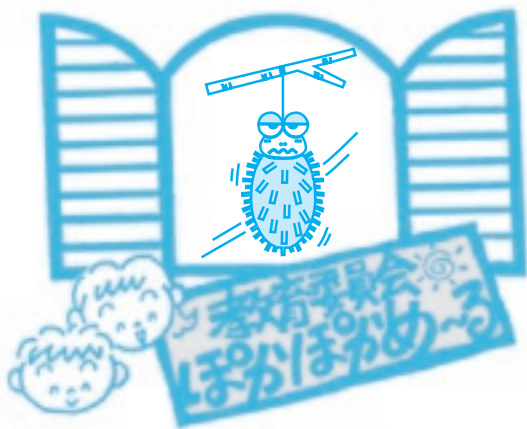
体力の低下、運動能力の低下、消極的な生活、肥満

生活習慣病予防のために体を動かしましょう。動脈硬化などが原因で血管が細くなったり、血のかたまり（血栓）でつまったりすると、脳梗塞や心筋梗塞などを招きます。適度な運動は血行を良くし、善玉コレステロールの増加で動脈硬化を防ぎ生活習慣病を予防するといわれています。運動の基本は「こまめにからだを動かす」ことです。

日常生活に運動を習慣化しましょう。

☆これからの健康づくり

→ 1 運動 2 栄養 しっかり禁煙 5 薬



学校紹介

白鷹町立中山小学校

中山小学校は、東経140度・9度、北緯38・14度、標高450Mという西置賜では最北、最東、最高に位置する学校で、白鷹山を背に、雄大な朝日連峰を展望できる大自然に囲まれた環境にあります。近年は、極少人数になっしまいました。この地域ならではの活動と一年を通して行っている全校体育のことを紹介します。

◆里山体験活動

10月下旬、山は秋真っ盛り。学校の周りは秋でいっぱいです。この辺りで秋といえば、栗、あけび、きのこ、いも煮。



この地で生まれ育っていくなかで大切な体験活動として数年前に復活したものです。児童だけでなく、保護者や地域のかたもともに山に入り、きのこのことを教えていただきながら一緒に活動します。学校で育てた里芋やネギも使い、きのこの学習をして育てたきこのこも入れ、高学年が中心となって芋煮を作ります。4つほどの大鍋でつくりませんが、それぞれ微妙に味が違ってするので、全部の鍋の味比べをします。みんな満腹で動けなくなるほどです。

きのこの学習は、里山体験の前に行います。毒きのこのことやきのこのよく出るところ、中山でよく採れるきのこなどを家の人から聞いてきたことや自分たちで調べたことをまとめて発表したこともありました。今年は、ナメコ、

マイタケ、ブナシメジを校内で育てています。来年は春に菌打ちをしたシイタケが収穫できそうです。

◆全校体育

一週間に2回、中間休みの一部を利用して全校体育を行っています。ドッジボール、長縄跳び、短縄跳び、8秒間走、3分間走、タグラグビー、サッカーなどをみんな元気よく行っています。低学年も学年の体力差にもめげずに同じことをがんばっています。一昨年からは取り入れているタグラグビーはサッカーやバスケットボールとは違ったおもしろさがあり、お気に入りの運動になっていきます。みんな楽しく運動し、そして、体力の向上をめざして、これからも元気あふれる全校体育にしていきたいと思っています。

郷土食伝承事業

地元の食文化を子どもたちに伝えたい

10月6日、「いきいき深山郷のどか村」において、鮎貝小学校6年生が郷土料理を堪能しました。

これは、昨年度「食アメニティ・コンテスト」優秀賞を

食の文化街道推進会議加入団体
ぬくもりの館姫城
いきいき深山郷のどか村
白鷹紅の花を咲かせる会
十王百笑の会
十二の桜会
どりのむ農園直売所
まあ・どんな会
JAしらたか愛菜館
白鷹町そばの里づくり振興会
笠松ロマン館



受賞した「白鷹町食の文化街道推進会議（会長 中川順一さん）」が、郷土の豊かな食文化を伝えたいと、町教育委員会に働きかけ、郷土愛を深めてほしいとの願いを込めこの事業がスタートしました。今年の対象は町内小学校の6年生計160人で、それぞれの会場に分かれて地元産の食材をふんだんに取り入れた料理を楽しみます。

この日、のどか村では、みそ焼き飯、季節の野菜たっぷりのもろこしや青菜の煮物、ぶどうなどが振舞われ、特製みそでつくったおにぎりが「とてもおいしい」と大好評で、いも煮は多くの児童がおかわりをしました。

どの会場でも料理の説明では、使われた地元産の食材の豊かさに驚き、更には地元で伝わる食にまつわるお話をお聞きし、地域の方々との交流もできたひと時でした。

INFORMATION

情報

あらかると

役場は ☎85-2111



独身者特別交流会・ドキド クリスマスパーティー

白鷹町商工会青年部が町の若者を育成し、出会いと交流の場をつくるため、クリスマスパーティーを企画しました。手づくりのイベントならではの温かで和やかな交流会です。普段忙しくて出会いがなかった、まずはご連絡ください。12月23日(金・祝)

午後1時～6時

▼どこで 荒砥地区公民館

▼参加対象者 男女とも、独身の20歳以上のかた

▼募集定員 男性25人
女性25人

▼会費 男性3000円
女性2000円

▼ゲーム内容 ダーツ、ビンゴなど

▼申込期間 11月12日(土)～12月3日(土)

▼申込者多数の場合は抽選になる場合もあります

▼主催 白鷹町商工会青年部

▼申込・問い合わせ 白鷹町商工会青年部 ☎85-0005

▼申し込みが不要です。

▼しめきり 11月15日(火)

▼お問い合わせ NPO法人まごころサービス長井 ☎84-6848

▼どこで 飯豊町民総合センター「あす」

▼出演 よさこい白鷹櫻鷹會

▼入場料 無料

▼お問い合わせ 置賜総合支庁企画振興課 ☎0238-2616021

▼どこで 飯豊町民総合センター「あす」

▼出演 よさこい白鷹櫻鷹會

▼入場料 無料

▼お問い合わせ 置賜総合支庁企画振興課 ☎0238-2616021

▼どこで 飯豊町民総合センター「あす」

▼出演 よさこい白鷹櫻鷹會

▼入場料 無料

▼お問い合わせ 置賜総合支庁企画振興課 ☎0238-2616021

▼どこで 飯豊町民総合センター「あす」

▼出演 よさこい白鷹櫻鷹會

▼入場料 無料

▼お問い合わせ 置賜総合支庁企画振興課 ☎0238-2616021

▼どこで 飯豊町民総合センター「あす」

▼出演 よさこい白鷹櫻鷹會

▼入場料 無料

▼お問い合わせ 置賜総合支庁企画振興課 ☎0238-2616021

地域ケアサービスリーダー 育成研修

▼いつ 11月26日(土)

▼どこで 午後1時～3時30分 置賜生涯学習プラザ(長井市)

▼内容

①講演「多様化する地域福祉サービス」

②シンポジウム 現在活動中の福祉NPOのボランティアリーダーが一堂に会し、情報交換やネットワークづくりを行います。

▼傾聴料 無料ですが、事前申し込みが必要です。

▼しめきり 11月15日(火)

▼お問い合わせ NPO法人まごころサービス長井 ☎84-6848

▼どこで 飯豊町民総合センター「あす」

▼出演 よさこい白鷹櫻鷹會

▼入場料 無料

▼お問い合わせ 置賜総合支庁企画振興課 ☎0238-2616021

▼どこで 飯豊町民総合センター「あす」

▼出演 よさこい白鷹櫻鷹會

▼入場料 無料

▼お問い合わせ 置賜総合支庁企画振興課 ☎0238-2616021

▼どこで 飯豊町民総合センター「あす」

▼出演 よさこい白鷹櫻鷹會

▼入場料 無料

▼お問い合わせ 置賜総合支庁企画振興課 ☎0238-2616021

▼どこで 飯豊町民総合センター「あす」

▼出演 よさこい白鷹櫻鷹會

▼入場料 無料

▼お問い合わせ 置賜総合支庁企画振興課 ☎0238-2616021

▼どこで 飯豊町民総合センター「あす」

▼出演 よさこい白鷹櫻鷹會

▼入場料 無料

▼お問い合わせ 置賜総合支庁企画振興課 ☎0238-2616021

▼どこで 飯豊町民総合センター「あす」

▼出演 よさこい白鷹櫻鷹會

▼入場料 無料

荒砥駅前交流施設資料館 展示品を模様替えしました



12月22日(火)

松くい虫等被害対策研修会

▼いつ 11月25日(金) 午後1時30分～3時30分

▼どこで

①室内研修 米沢市万世コミユニティーセンター

②現地研修 稲荷山森林公園

▼対象 森林組合、企業・団体、一般50人

▼内容

①室内研修 松くい虫等の被害状況と対策、樹幹注入による予防

②現地研修 樹幹注入の実際、移動式チップパーによる被害材の有効利用

▼参加費 無料

▼しめきり 11月22日(火)

▼どこで 中央公民館大ホール

▼申し込み 12月4日(日) 午前9時

▼申し込み 12月4日(日) 午前9時

▼申し込み 12月4日(日) 午前9時

▼申し込み 12月4日(日) 午前9時

▼申し込み 12月4日(日) 午前9時

▼申し込み 12月4日(日) 午前9時

▼申し込み 12月4日(日) 午前9時

▼申し込み 12月4日(日) 午前9時



第28回町民卓球大会の出場者募集

▼いつ 12月4日(日)

▼どこで 中央公民館大ホール

▼申し込み 12月4日(日) 午前9時

▼申し込み 12月4日(日) 午前9時

▼申し込み 12月4日(日) 午前9時

▼申し込み 12月4日(日) 午前9時

▼申し込み 12月4日(日) 午前9時

▼申し込み 12月4日(日) 午前9時

▼申し込み 12月4日(日) 午前9時

▼申し込み 12月4日(日) 午前9時

つぶやき
つぶやき
あらと保育園



秋の遠足

遠足でフラワー長井線に乗った子どもたち。出発！興奮したKくん
Kくん「すげえー、コオロギより速い！」
他の子どもたちも「うん。」と納得。
保育者「ん？コオロギ？」「ん？なんで納得するの？」と疑問がいっぱいでした。

いってきます

お散歩に行くために玄関をでたRクラスのお友だち。最後に出てきたKくん。ふりかえって、
Kくん「いってきます！」
保育者「えっ、誰に言ったの？」
Kくん「ほ・い・く・え・ん」

- 女子、ラージボール男子、ラージボール女子
- ③ダブルス(男子、女子、混合、夫婦、親子)
- ▼参加料
- ・シングル 1人2000円
- ・ダブルス 1組4000円
- *団体戦、小学生は無料
- ▼しめきり 11月22日(火)
- 申込・問い合わせ 産業振興課・衣袋(☎85-6127)

手芸とお菓子づくり講座

基本から仕上げまでを学ぶことができますので、初心者でもベテランのかたでもぜひお越しください。

- ▼いつ 12月3日(土)、4日(日) 午前9時～午後4時
- ▼どこで 白鷹高等専修学校
- ▼内容 刺しゅう入りおしゃれ小物、お菓子
- ▼対象 小学生、中学生、一般成人のかた20人
- ▼会費 1000円(親子でも1000円)
- 申込・問い合わせ 白鷹高等専修学校(☎85-2081)
- 牛乳パック紙すき体験参加者募集**
- 牛乳パックでオリジナルのはがきをつくってみませんか。

▼いつ 11月26日(土)

午後9時～昼12時

▼どこで 千代田クリーンセンター体験工房(高島町)

▼定員 3回の時間に分け、各20人定員

▼しめきり 11月22日(火)

■申込・問い合わせ 千代田クリーンセンター施設第二係(☎0238-57-4004)

福祉サービス第三者評価事業

評価調査者養成研修受講者募集

▼いつ 12月10日(土)～13日(火)

▼どこで 山形県総合社会福祉センター(山形市)

▼受講料 2万1000円

▼募集定員 20人

▼受講資格(次のいずれかの要件を満たすこと)

①組織運営管理業務を3年以上経験しているかた

②福祉、医療、保健分野の資格者または学識経験者で、当該業務を3年以上経験しているかた

▼しめきり 11月25日(金)

■問い合わせ 山形県社会福祉協議会第三者評価推進室(☎023-641-0561)

防衛庁自衛官(自衛隊生徒)募集

▼応募資格 平成18年4月1日現在、15歳以上17歳未満(平成元年4月2日～平成3年4月1日に生まれた男子)

平成18年4月入隊できるかた

▼区分 陸上・海上・航空自衛官

▼受付期限 平成18年1月10日(火)

▼試験日 平成18年1月14日(土)

■申込・問い合わせ 自衛隊米沢募集事務所(☎0238-123-0011)

町営バスのおしらせ

11月から、町営バス「荒砥・大瀬線」の土曜日の運行を再開しました。

土曜日の運行は11月1日から平成18年3月31日までの期間中のみで、4月から運休になります。

なお、日曜・祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)は運休しますのでご注意ください。

■問い合わせ 政策改革課 策企画係(☎85-6123)

おしらせ

標準営業約款制度(Sマーク)をご存じですか

Sマーク登録店は「事故が発生した場合の賠償保険」「施設の設備の内容」「仕事やサービスの内容」について正しく表示している信頼できるお店です。理容店、美容店、クリーニング店、めん類飲食店、一般飲食店のお店選びは厚生労働大臣認可のSマーク登録店で!



■問い合わせ 県生活衛生営業指導センター(☎023-623-4323)

平成17年度浄化槽設置補助の受付を締め切ります

今年度の浄化槽設置予定基数が残りわずかとなりました。県への報告が12月下旬となっているため、今年度分の最終締め切りとさせていただきます。

▼しめきり 12月9日(金)

▼条件 平成18年3月31日までに設置完了できるかた

▼残基数

・5人槽 8基

・7人槽 3基

■申込・問い合わせ 建設水道課下水道係(☎85-6138)

鮎貝地内の一時停止規制の変更について

鮎貝地内の4方向一時停止規制となっていた交差点2カ所(北海道あけぼの食品付近交差点、小口自動車付近交差点)が解除になり、南北に走る「主要地方道長井・大江線(県道)」が優先道路になり、町道側が一時停止規制になっています。

町道側を通行する際は必ず一時停止し、また県道側でも徐行し、安全確認と安全通行

をお願いします。

■問い合わせ 役場総務課生活安全係(☎85-6122)

出張相談in置賜

▼いつ 毎月第3週の木・土曜日 午前10時～午後6時

▼どこで 米沢勤労者福祉センター「アクティール米沢」

▼内容 就職活動や職業選択についての専門カウンセラーによる無料相談

▼申込時間 毎週月～金曜日 午前9時～午後5時

■申込・問い合わせ 山形県若者就職支援センター(☎090-8922-2449)

11月から労災未加入のペナルティが厳しくなりました

11月1日から、労災保険の未手続き中に労災事故が発生した場合、さかのぼって保険料を徴収するほかに、労災保険から給付を受けた金額の100%または40%を事業主から徴収するなど、ペナルティ(費用徴収制度)が強化されました。

まだ労働保険の加入手続きをされていない事業主のかたは、速やかに最寄りの労働基準監督署で手続きをお願いします。

ます。

■問い合わせ 米沢労働基準監督署(☎0238-2317120)

建退共制度

建設現場で働くかたがたのために、法律に基づき国が定めた退職金制度です。

▼加入できる事業主 建設業を営むかた

▼対象となる労働者 建設業の現場で働くかた

▼掛金 月額310円

▼特徴

①経営事項審査で加点評価の対象となります。

②掛金の一部を国が助成します。

③掛金は事業主負担ですが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ、税法上全額非課税となります。

④事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

■問い合わせ 建退共山形県支部(☎023-63218369)

12月のパソコン講習会

期日	時間	講習会	内容	受講料
12月2日(金) 5日(月) 7日(水) 9日(金) 12日(月)	午後7時～9時 (合計10時間)	ワードコース	文字入力ができる方対象コースです。簡単な案内文章の作成から、図を入れた文章。表を取り入れた文章など、生活で役に立つ文章作成ができるまでを講習致します。	¥3,000

●テキスト代 各コース2,100円前後

*途中で退席しても、受講料、テキスト代は返金できませんのでご了承ください。

●会場 白鷹町総合情報センター(パワーセンター白鷹隣)

【情報センター無料開放日】

毎月第4土曜日 午後1時～4時 インターネットが使い放題!どなたでもご利用いただけます。

12月から第4土曜日以外でも不定期での無料開放日を設けました。(午後5時～8時)

詳しい期日は情報センターまでお問い合わせください。

■申込・問い合わせ

白鷹町総合情報センター(☎86-0151・http://www1.shirataka.or.jp/)

電話番号のお間違いのないようにしてください。

山形県からのおしらせ

土砂災害防止のための現地調査 (土地の立ち入り)に関するお願い

山形県では、「土砂災害防止法」の規定に基づき、土砂災害の危険がある箇所について順次現地調査を行います。調査の主旨をご理解いただき、調査のための土地の立ち入りについてご協力ください。

▼現地調査の内容

「土砂災害警戒区域」や「土砂災害特別警戒区域」を地形、地質、土地の利用状況や過去の災害の有無などを調査した結果に基づき指定します。

▼現地調査の方法

①がけ(斜面)、溪流、地すべり地及びその周辺の地形等のスケッチ、写真撮影による記録

②宅地付近の地盤勾配の計測や構造物の位置の確認(簡易測量)

③調査するがけ、溪流、地すべり地及びその周辺に位置する建築物の階数・構造等の確認(外観目視)

▼調査期間

11月7日(月)～12月30日(金)
(うち1～2日程度)

▼調査箇所

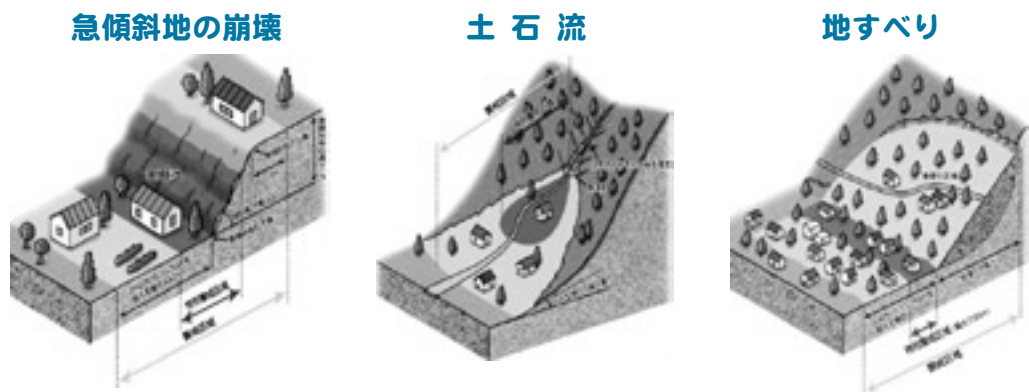
白鷹町内一円の危険箇所(詳細は問い合わせください)

▼立ち入りについて

がけ、溪流、地すべり地、宅地及びその周辺への調査員立ち入りの際には一言お断りしますが、ご不在の場合でも日程の都合上、調査を行いますのでご容赦願います。万一、立ち入り拒否または立ち会いが必要な場合は、ご一報いただければ幸いです。また、調査の実施にあたって、樹木の伐採や木杭の設置、建築物内部への立ち入りはいたしません。

■問い合わせ 置賜総合支庁
西置賜河川砂防課(☎88-5111 内線342)

土砂災害警戒区域等の指定イメージ



「町報川柳」形 新野三拍子 選

佳作	まだ若いつもり髪形変えて出る	畔藤	梅津たつ糸
〃	明日からはきつと止めると空手形	白河市	亀山富美男
〃	お人形のようにすまして七五三	細野	安達昭吾
〃	風雪に耐えた形を見せる松	高岡	長岡みち子
〃	空の色 雲の形も冬に入る	浅立	小形義三
〃	体形を気にして渋るクラス会	横田尻	金田れん
〃	形見分け母が手織りの袖機 <small>つむぎはた</small>	滝野	海老名達夫
〃	民営化の形で怖い付けが来る	鮎貝	五十公野忍
〃	形勢の悪い時こそあるチャンス	十王	川部隆雄
〃	山形の秋の稔りの荷が届く	荒砥乙	土谷灯一
〃	秋深く 母の形の雲ひとつ	横須賀	大滝健次郎
〃	正座して希望進路を言い出す子	鮎貝	土屋文香
秀逸	形から入ってこころ整える	畔藤	梅津とも
〃	人形を抱いた兵士の古写真	鮎貝	植木英夫
〃	マニフェスト型紙だけの政治だな	鮎貝	高橋正
〃	過去形に三つ指ついた跡がある	荒砥乙	梅沢草路
〃	つむぎ地の母の形見は丈短か	折居	海老名きち
〃	丸い背の形になった影法師	畔藤	梅津いと
〃	鑄型 <small>いかにた</small> には収まり切れず翔びたがり	荒砥甲	横山陽子
〃	顔かたちコピーみたいな双生児	山口	渡部喜美子
〃	いびつでも味では負けぬ今が旬	高玉	高橋朝子
〃	心まで整形出来るものでなし	荒砥甲	井澤美佐子
五客	正直の形で野良着干してある	十王	志鎌はる糸
〃	形勢が不利なら撤退考える	世田谷	遠藤八重
〃	盆栽の形に人が創られる	足立区	川村美智子
〃	曲がり胡瓜 <small>きゅうり</small> いい人を待つ直売所	畔藤	堀内芳夫
〃	忍という母の形見を娘に渡す	荒砥乙	高橋白兔
人位	田んぼみな整形手術した故郷	十王	守谷三郎
地位	形の良い順に市場にお嫁入り	長野県	坂本静子
天位	胸張って山形と言う出身地	横須賀	菊地美芳
軸	人間の形で逝ける善を積む	横須賀	菊地美芳
次回課題	「犬」十一月末日まで 「直」十二月末日まで		
一題三句はがきにて 届け先 白鷹町荒砥乙四九四 菊地克二宛			

戸籍の窓

●10月1日▶10月31日

ご結婚おめでとう

氏名	住所
倉田 伸一	井市 長井
金田 栄次	横田 尻玉
本木 貴子	高山 形市
鈴木 利史	乙立 荒砥
伊藤 恵理	浅藤 野岡
菅原 智宏	萩高 宮城
老名 純司	十長 井市
小山 文恵	宮城 乙原
安達 那紀	荒砥 野原
小宮 澤康	佐野 飯豊
佐竹 田潤	
竹木 亜友	

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
鮎貝	黒澤 武利 真紀子	尚 <small>なお</small> 澁 <small>あき</small> と翔 <small>と</small>
高玉	橋本 秀直	優 <small>ゆう</small> 美 <small>み</small> 咲 <small>さき</small>
萩野	紺野 真芳	美 <small>み</small> 真 <small>ま</small> 菜 <small>な</small>
畔藤	大木 大真由	真 <small>ま</small> きら
十王	松野 真み	ら 陽 <small>がひ</small>
十王	長谷部 亮深	陽 <small>がひ</small>
横田尻	小林 崇紀	真 <small>ま</small> 壮 <small>さう</small> 史 <small>し</small>
荒砥甲	樋口 篤史	史 <small>し</small> 季 <small>き</small>

おくやみ

住所	氏名	年齢
佐野原	五十嵐 辰美	81
高玉	五十嵐 つね	77
深山	樋口 義一	39
畔藤	鈴木 ころ	73
十王	佐藤 みつる	95
浅立	沼沢 信年	87
荒砥甲	阿部 春雄	80
横田尻	佐藤 敏彦	77
高玉	今野 しん	87
荒砥甲	森谷 ゆきの	87
山口	佐藤 のし	84
高玉	田中 キミ	88
浅立	岡田 勝代	65
荒砥甲	菅原 与市	88
深山	原田 幸	78
横田尻	金田 幸	81

先ごろ、県立荒砥高等学校で公開授業が行われた。テーマは「分かり易く、生徒が興味を持つて取り組む授業への改善工夫」をどう行っているかである。わたしも当日、化学と国語の授業を参観した。もうおぼろげに出来ない記憶だが、何十年前も前に受けたわれわれの時代の授業の進め方とは、随分違うように思う。今の方がより生徒の立場に立っている。教える生徒に識ってもらうべき内容について、それに到達させるための方法が極めて工夫されている。理解させようとする熱意が伝わってくる。生徒にも当然であろうが私語はない。学ぶ姿勢が真剣だ。今、荒砥高等学校では、学校あげて荒高活性化に取り組んでいる。

現在、高等学校には約98%の中学生が進学する。すべての子どもが高校に進学する状況と言える。一方、わが国は少子高齢化社会にあるが、良好な国土を

しっかりと守り、都市と70%を占める農村がお互い発展するところが、日本の持続的発展に結びつく。それは、人びとが各地に広く存在し、活動してこそである。そのためには、人びとはお互い取り巻く環境下において、おのおのがしっかりとした目標を持ち、前向きに自己実現と社会への貢献を行っていき

ようにならなければならない。高校時代はまさに若木の時代。地域の環境と風雪の中で、しっかりと水分を吸うがごとく、成長の基礎をつくる時だ。人づくりは地域づくりである。高校全入時代の今、これからの考えれば、進路の内容にもよるだろうが、自己のふるさとを舞台として、地域愛をより深く持つ感性

を身につけ、社会生活に対する準備なり、自己の能力向上に全力を傾け、その後の人生でさらに努力し、日本であるいは地域で大きく成長していく。このような若者が存在してこそ、日本の地域は救われよう。

作家・三浦朱門氏は次のように言っている。「今の社会のなかで、われわれは若い世代をどの

みつめ、そのうえに自分の人格と生活を築いて充実した人生を歩める人である。」と。社会は人びとによって前進するのである。これからの日本を支え、地域を支えていける原点はここにあるのではないか。

今、高等学校全入時代、そのあり方は、社会に対して準備を始める最初の時期。地域とのかかわりを見ることなしには論じられない。高等学校はその機能も、そこに関係する人（生徒も含む）も地域を育てるし、地域も高等学校を育てていく。とりわけ本町では、規模の大小ではない。そしてなによりも、荒砥高等学校が地域の発展にとつてはかけがえのない学校であり、誇りである。在校生諸君の大きな精進を心から期待するし、多くの中学生諸君がふるさとの高校で大志を持って学び、雄飛してほしい。

橋本光記

▼秋の色と言えば、紅葉などの赤や黄、鮮やかな色が思い浮かびますが、白も秋色です。それは霧に包まれる町の色です。秋も深まり、朝、家の前の田んぼや山は白くもやがかり、また山の上から町を見下ろすと白い雲海が広がり、周囲の山が日に照らされ浮かぶ様子は、息を飲む美しさです。通勤には十分に幻想的な霧を楽しみたいですが、▼新潟県中越地震から1年が過ぎました。栃尾市や周辺の皆さんの復旧への苦労は計り知れません。わたしたちも「対岸の火事」と思わず、日ごろから防災への心構えをしっかりとしていきたいものです。（うめつ）

町長随想 ⑤2

『白鷹・高等学校』

しらたか春夏秋冬



広報しらたかは再生紙を使用しています。